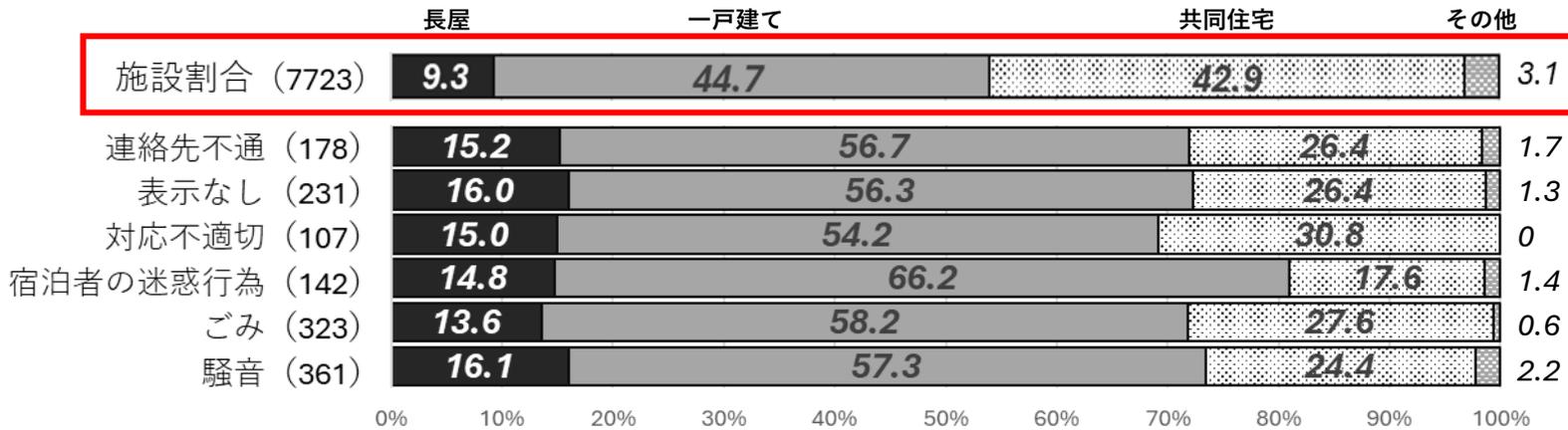
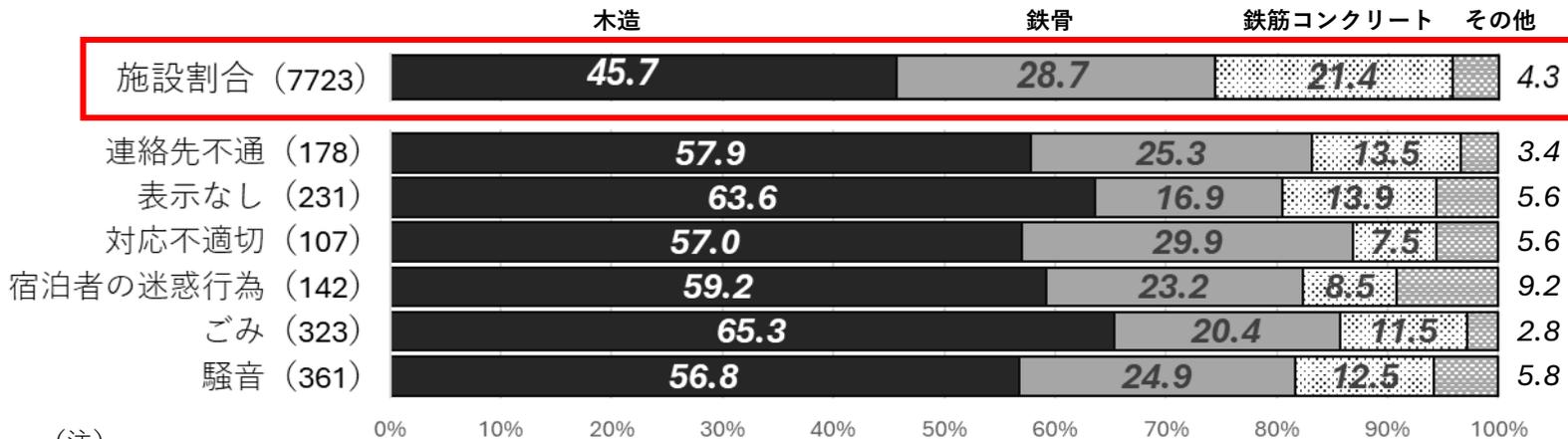


特区民泊苦情分析結果 ①

建物種類別の施設割合と生活環境に係る苦情割合の対比グラフ



建物構造別の施設割合と生活環境に係る苦情割合の対比グラフ



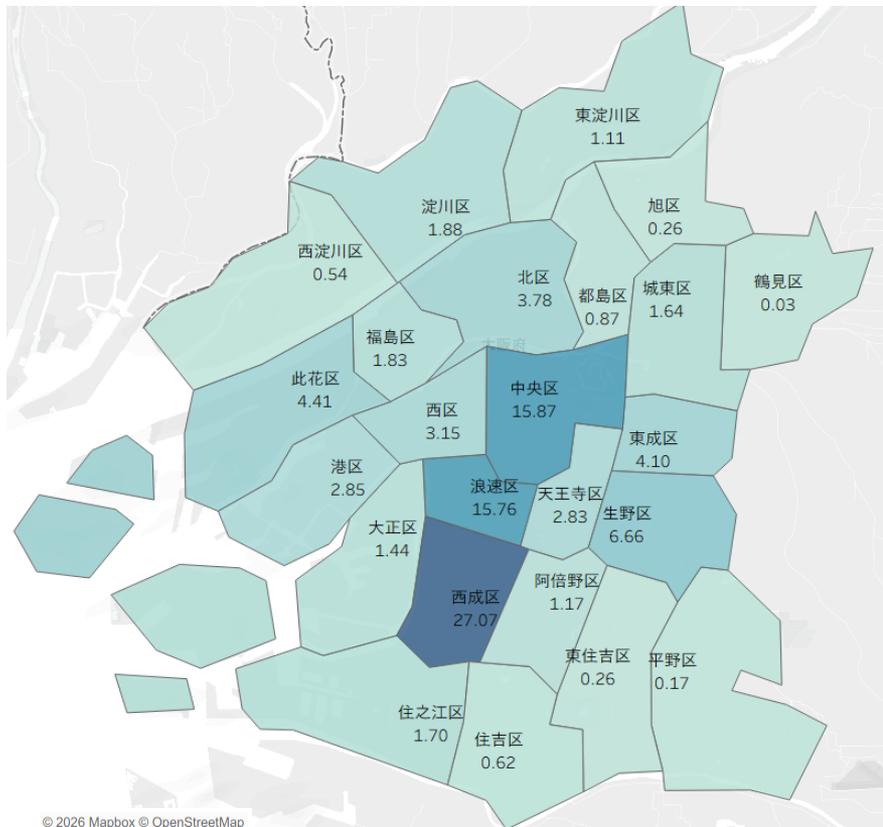
- (注)
- ・ 令和7年12月末時点の認定施設 7,723施設を対象に分析
 - ・ () 内の数字は分析対象数 (n数)、グラフ内の数字は%
 - ・ 分析に使用したデータは令和2年4月～令和7年12月に保健所に寄せられた苦情のうち、苦情先の施設が特定できているもの (廃止施設を除く)
 - ・ 同一施設の苦情であっても、複数の苦情項目の申し出がある場合は苦情項目ごとに1件として計上

◆グラフからわかること
 一戸建て・長屋の施設、木造構造の施設は苦情が発生しやすい

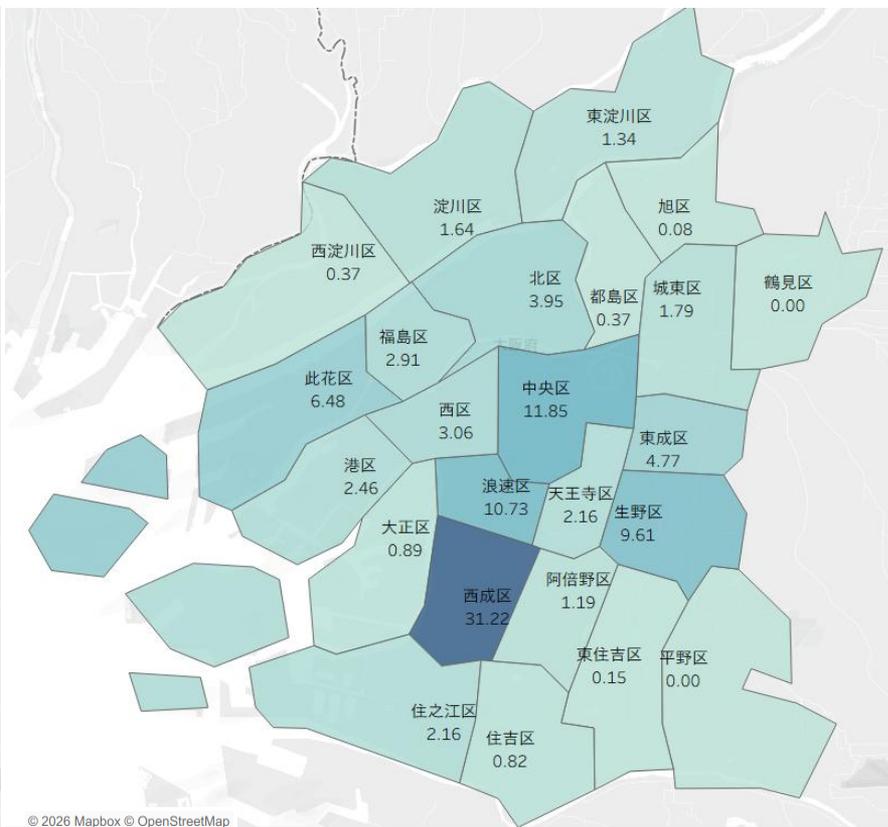
特区民泊苦情分析結果 ②

行政区別の施設分布および苦情発生分布

行政区別の施設割合 (%)



生活環境に係る苦情の行政区別の発生割合 (%)



(注)

- ・令和7年12月末時点の認定施設 7,723施設を対象に分析
- ・分析に使用したデータは令和2年4月～令和7年12月に保健所に寄せられた苦情のうち、苦情先の施設が特定できているもの（廃止施設を除く）
- ・同一施設の苦情であっても、複数の苦情項目の申し出がある場合は苦情項目ごとに1件として計上

◆分布からわかること

苦情の発生割合は概ね施設割合と比例し、特に西成区・中央区・浪速区の3区では市全体の約5割を超えている。